

学校だより 10月号

令和4年9月29日



横浜市立義務教育学校

緑園学園

RYOKUEN COMPULSORY EDUCATION SCHOOL

横浜市泉区緑園五丁目28番地 前期課程 ☎045(811)6710 後期課程 ☎045(811)6030

「目標」

校長 野口 弘之

いつの間にか、木々の葉が色づき始め、コスモスの鮮やかなピンクやリンドウの青紫を目にするようになりました。緑園の街にも秋の足音が聞こえています。

緑園学園は、開校から半年が経ち、前期(上半期)が終わろうとしています。本校は、前後期の2期制のため、10月7日で前期(上半期)が終了し、10月11日からは後期(下半期)となります。

この前期(上半期)は、新生の緑園学園として、児童生徒、保護者、地域の皆様と新しい学校づくりに取り組んでまいりました。子どもたちは、日々の学習はもちろんのこと、各学年で遠足や宿泊行事などの校外活動も行い、ここ数年、実施が難しかった体験的な学習を行うことで、日常の学校生活では得ることができない多くの学びがありました。また、その他の行事や委員会活動、また、部活動にと、それぞれが意欲的に取り組み、一人ひとり大きく成長する姿がありました。これまでの保護者や地域の皆様のご協力に感謝いたします。一方で、6月にはPTAを発足するとともに、学校運営協議会や学校・家庭・地域連携事業実行委員会を新たに立ち上げ、様々な場面で多くの皆様にご支援いただいております。引き続き、後期(下半期)もどうぞよろしく願っています。

ところで、最近読んだ学校教育に関する本の中で、学校教育の「目的」について触れていた部分が目に留まりました。「要するに、学校教育には大きな目的がまずあって、それに向けた目標が設定され、それが具体的な日常の次元まで下ろされていくという関係です。高次から低次まで何重にも作られているわけです。」とありました。本校のグランドデザインに当てはめると、開校の理念である校訓と学校教育目標がそれにあたります。昨今では、目標を明確にもち、それを具体化して取り組むことが有効であると言われていています。例えば、メジャーリーグ、大谷翔平選手の目標達成シートの実践などが有名です。彼は高校時代に「ドラ1 8球団」という大きな目標を中心に置き、それを達成するための具体的な目標を設定し取り組んでいました。本校の児童生徒の皆さんにも、ぜひ「目標」を意識した学校生活や日常での生活を心がけてほしいと思っています。

ちなみに、夏休み前に後期課程の一部生徒を対象にアンケートを実施したところ、学校教育目標を「知っている」と答えた生徒が、13.9%、「見たことがある」が39.4%、「知らない」が46.7%でした。これからは、様々な場面で、本校の「目的」や「目標」が意識できるように工夫したいと思っています。

校訓 「真のグローバル人材に 自主 協働 創造」

学校教育目標

- 自ら学び、考え、表現し、問題解決する力の育成(知)
- 自他の生命を尊重し、心と体の健康を向上していく力の育成(徳・体)
- 他者と協働し、よりよい生き方を創造する力の育成(公・開)